

令和 6 年度 東京家政学院大学卒業式及び東京家政学院大学大学院修了式告辞

本日、現代生活学部 256 名、人間栄養学部 134 名が卒業を迎えます。
大学院人間生活学研究科では、修了生 2 名を送り出します。

卒業・修了を迎えられた皆様に、心よりお祝いを申し上げます。
保護者の皆様、ご家族・ご親族の皆様もお喜びのことと存じます。
誠におめでとうございます。

ご来賓の皆様には、本日の卒業式にご臨席を賜り、ありがとうございます。
一緒に、この晴れの日を祝うことができますことを感謝しております。

皆さんが入学した 2021 年の入学式では、保護者の皆さまや御来賓の皆さまにはご出席いただけませんでした。本日は、皆さまと一緒に卒業を祝うことができ、大変嬉しく存じます。

皆さんの大学受験の年には、コロナウイルス感染症が猛威を振り、皆さんは、落ち着かない日々を過ごされたことでしょう。
そして、本学に入学された 2021 年は、まだまだ感染症の影響が色濃く残っていた時期でした。オンラインの授業から始まり、不安な日々が続いたことと思います。
授業がオンラインから対面が変わる際にも、戸惑うことも多かったのではないのでしょうか。

隔週での通学、オンライン授業、オンデマンドなど新しい形式の授業がありました。
これらの環境の変化を受け入れるのに時間がかかったでしょうし、いろいろなストレスがあったことと思います。

大学としても、授業の形式について、スムーズな移行を目指しましたが、難しい面がたくさんあり、上手く行ったかというところ、そうは言い切れません。
心苦しく思うこともたくさんありました。
そのような中、皆さんが 2 年生の時に、KVA 祭を対面で開催することができました。

町田キャンパスの会議室が、実行委員の控え室でしたが、大勢の学生さんが集い、歓声と笑顔がキャンパスに溢れました。

私にとっては、それまでの静寂から、大学らしい日常が戻ったことを感じた記念すべき日でした。

それ以降、日常生活が、徐々に戻ってきました。

皆さんの大学生活はいかがでしたでしょうか。

アルバイトに力を入れた方も多いことでしょう。

2月に行った卒業時アンケートによると、アルバイトにより、コミュニケーション能力を磨いたり、異なる世代の考え方を学んだり、働くことについて考えたり、たくさんの学びがあったという回答がありました。

また、学生時代にもう一つ大事なこととして、将来の道を探り、就職活動に取り組んだことがあると思います。その過程においても、迷いや思い通りにいかなくてつらい思いもなされたことでしょう。

卒業を迎えて、その一つ一つが、蘇ってくるかもしれません。

皆さんは、大学での学びを修めて、学位を取得するという、晴れの日を迎えています。

学部卒業生の皆さんは「学士」の学位を、大学院修了生は「修士」の学位を授与されました。

この「学位」というのは、日本国内はもちろん、国際的にも通用します。

自信と誇りを持って、今後の人生を歩んで行っていただきたいと思います。

日本の最近の大学進学率は50%台、すなわち2人に一人が大学で学んでいます。別の言い方をすれば、2人に一人は大学で学ぶ機会を持っていないということです。

皆さんには、大学で学んだことを、ご自身の人生を実りあるものにすることに活かしてしていただきたいと思います。

同時に、これまでの学びを活かして、身近なところ、さらには社会をよりよくすることに貢献していただきたいと思います。

本学で身につけたKVA精神を活かしてくださることを期待しています。

昨今、災害や紛争など心の痛むニュースが毎日のように飛び込んできます。

1日も早い災害からの復興や、紛争の終結を祈るばかりです。

そして、私たちは、国内外の様子を把握しつつ、自分が積み重ねてきた学びや

経験をもとに、考えを整理し、どのような行動をとるべきか判断していく必要があると思います。

それが、大学での高度な教育を受ける機会に恵まれた私たちの使命ではないでしょうか。

ここで、皆さんの門出にあたって、最近、私が感銘を受けたメッセージを2つ紹介したいと思います。

一つ目です。

「人生で大切なことは、胸がキュンとなることを見つけることだ。」

これは、新しいスポーツ種目を町に取り入れて町中を巻き込み、町全体を活性化した方の言葉です。

皆さん一人ひとり、楽しくて、やりがいのあること、それをぜひ見つけてください。もう一度言います。

「人生で大切なことは、胸がキュンとなることを見つけることだ。」です。

そして2つ目は、

「夢って意外にかなうと思います。」というメッセージです。

苦勞したり、思いが空回りしたり、そんな辛い時期が続いたとしても、諦めずに努力しているうちに報われることがある。「順番がきた」と思う時がくる、ということを行っています。

これは、専業主婦ののちに、作家になった方の言葉です。

「夢って意外にかなうと思います。」

皆さんがスランプに陥った時などに、思い出していただければと思います。

それでは、改めまして、本日晴れの日を迎えられた皆様に心からのお祝いを申し上げ、告辞と致します。

令和7年3月19日 東京家政学院大学・大学院 学長 鷹野景子